

# きれいな色のスライムを作ろう

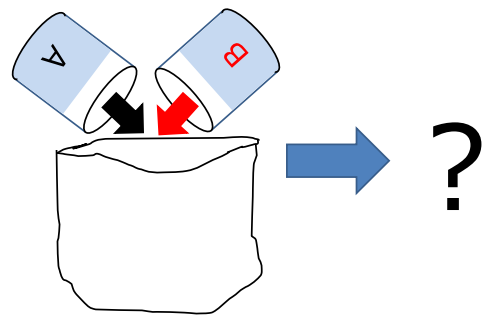
山口大学工学部

## どんな実験なの？

用意した2つの入れものに入っている2種類の液体をビニールぶくろの中で混ぜていると、いつの間にか、固まってきます。このぬるぬるしたものに色を付けたり、ラメを入れたりして遊びましょう。

**実験のしかたは？** ※実験を始める前に必ず「気をつけよう」をよく読んでください。

- (1) 用意したA（黒い文字）の入れものの中身を、  
ビニールぶくろに、ぜんぶ入れます。
- (2) 用意したB（赤い文字）の入れものの中身を、  
ビニールぶくろに、ぜんぶ入れます。
- (3) 色の着いた液をビニールぶくろに、一滴か二滴くらい  
入れてください。



- (4) ビニールぶくろの外側から、手で液体をよく混ぜます。手で触れた感じは、どう変わった？
- (5) ぬるぬるしたスライムができあがるので、家に持ち帰ってから、ぶくろから出してみよう。

**気をつけよう** この実験で使う薬品やできあがったスライムをさわったあとは、手を必ず洗ってください。スライムを口の中に入れてたりしないでください。すてるときは、プラスチックごみとして捨ててください。流しには、捨てないでください。

もし、口に入れたりしたときは、急いでうがいをしたあと、すぐにお医者さんに行ってください。

## もっとくわしく知るために

もっといろいろなスライムを作りたい人は、下のホームページなどを見てね。今回の実験も、このホームページを参考にしました。 <http://www5.plala.or.jp/mkumagai/slime/slime.html>

**【保護者の方へ】** 使用している薬品は、ポリビニルアルコール(洗濯糊)、硼砂(ほうしゃ)および食品添加用色素です。硼砂は、多量に口に入れたりすると危険です。誤って“スライム”を口にしたりしないように指導・監督をお願いします。A溶液は、市販の洗濯糊(成分にポリビニルアルコールと書いてあるもの)を薄めたもの、B溶液には、硼砂の水溶液を使用しています。書籍などでは、硼砂の飽和溶液で行っている場合が多いですが、濃度の高い硼砂の水溶液の取り扱いには、十分注意してください。誤飲による事故を防ぐために、ジュースなどの容器を溶液調製などに使わない、“スライム”を作り終わったらすぐ溶液を捨てる、などの注意をお願いします。今回の硼砂水溶液の濃度は、0.75%溶液(硼砂0.75gを水100mlに溶かしたもの)ポリビニルアルコールの溶液(洗濯糊)は、成分表示にポリビニルアルコール(あるいはPVA)10%水溶液と表示のあるもの75mlを100mlになるように水を加えたものを、それぞれ同量ずつ混ぜています。洗濯糊は、濃度表示の無いものもありますが、成分表示にポリビニルアルコール(あるいは、PVA)と書いてあるもので大丈夫です。洗濯糊の濃度を変えて、どんなスライムができるか、というのを試してみるのも良いかと思います。